



令和6年度第2回 サフトリーダー養成研修 in 静岡 報告

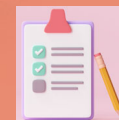
開催日：令和6年9月13日～14日



受講者数：16人



アンケート回答者：9人



アンケート回収率：56.3%



公益財団法人フランスベッド・ホームケア財団

リフトリーダー養成研修の概要

1日目（講義）

- リフトリーダーと助成金制度
- 腰痛の原因と対策
- 介護作業とリフト

2日目（演習）

- 移乗関連用具指導法
- 実技テスト（希望者）



<講師>

福祉技術研究所（株）代表取締役

市川 洌 先生

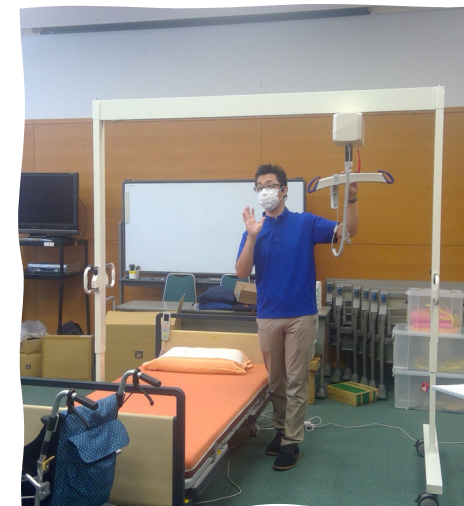
- 早稲田大学工学部卒業
- 1971年～ 東京都補装具研究所で福祉機器の研究・開発
- 1997年～ 東京都福祉機器総合センターで福祉機器の相談
- 2001年～ 福祉技術研究所(株) を設立。高齢者・障がい者に対する各種福祉用具支援やコンサルティングを実施

福祉用具には必ずメリット、デメリットがあることを知っておくのも大切です。



協力リフト業者 ご紹介

- 株式会社竹虎：かるがる[®]サテライト
- パシフィックサプライ株式会社：床走行式モーリフト
- 日本ケアリフト株式会社
- 株式会社ミクニ ライフ & オート：マイティエースII
- 株式会社いうら：移動式リフト



受講生の内訳



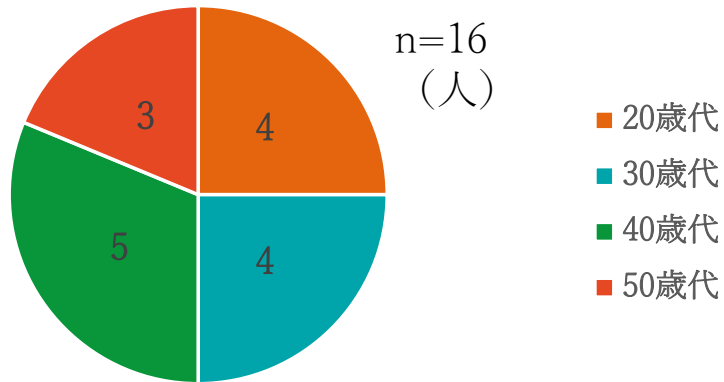
受講者数16人



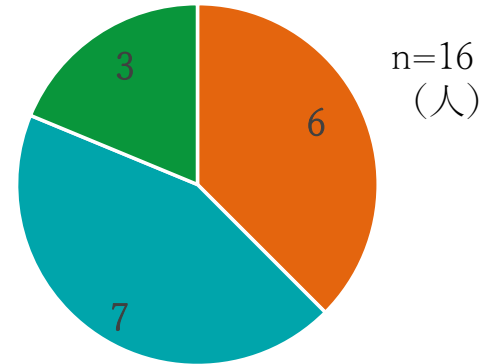
アンケート回答者数9人



年代

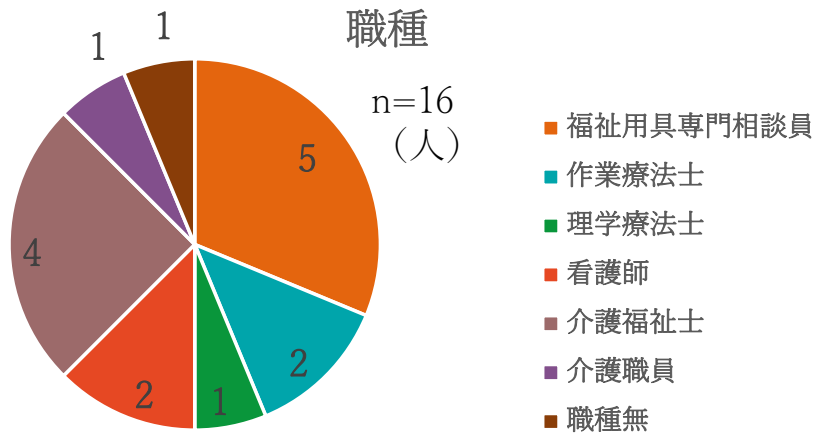


所属機関



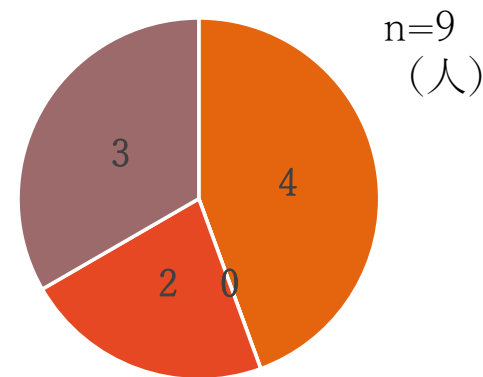
- 福祉用具貸与事業所
- 介護施設
- 病院

職種



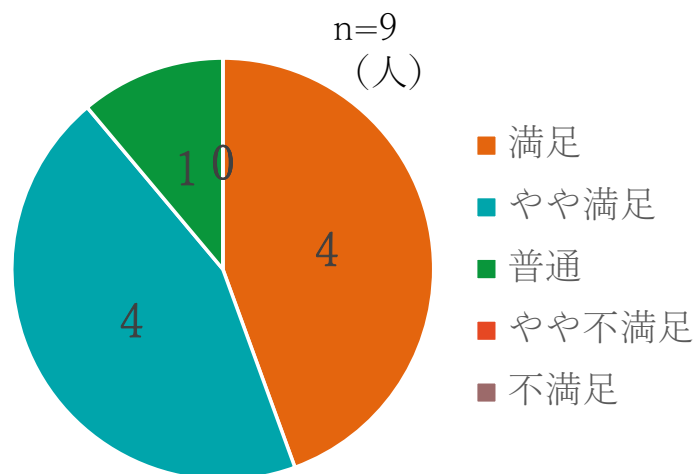
- 福祉用具専門相談員
- 作業療法士
- 理学療法士
- 看護師
- 介護福祉士
- 介護職員
- 職種無

研修開催をどのように知ったか



- 公益財団法人テクノエイド協会のホームページ
- 当財団のホームページ
- 当財団からのDM
- フランスベッド(株) 営業所からのご案内
- 職場からの紹介

研修の満足度



満足を選択した理由

- リフトに触れる機会が少ない為、研修を通して、リフトへの知識を深めることができた。
- 市川先生の講義は本当に学びが多かった。実技も細かく説明があり、非常に役に立つ内容だった。
- 職場で使用してるので、危険認識がより高まった

普通を選択した理由

- リフトについて改めて勉強することが出来た。



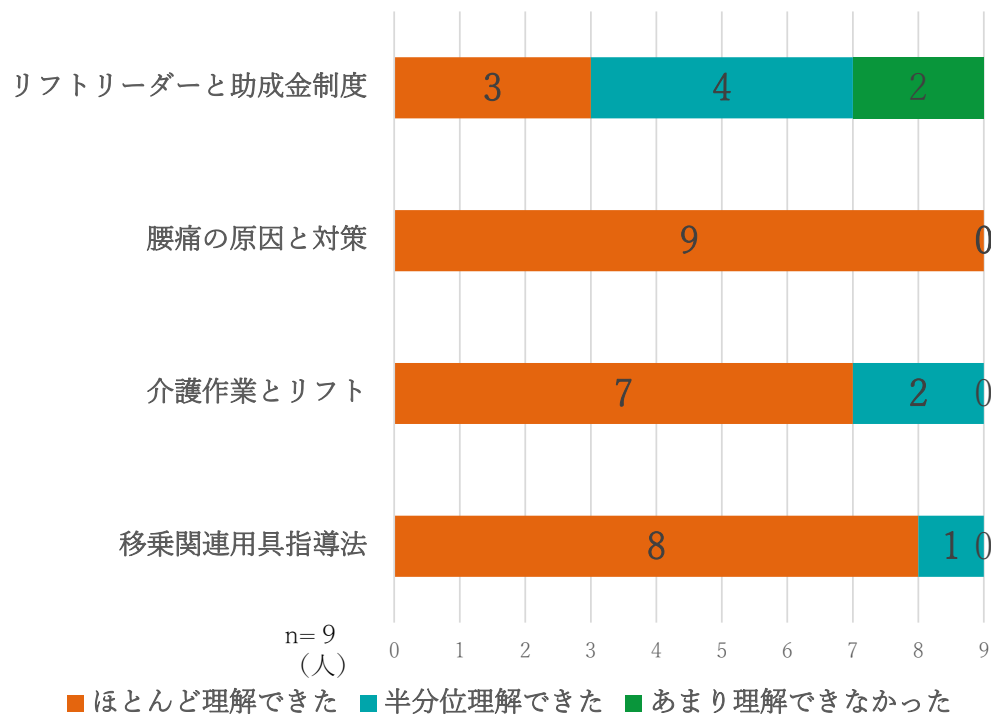
やや満足を選択した理由

- しっかりとしたリフター、スリングの使い方が分かって良かった。
- リフターを使用する際、患者に対して丁寧なポイントを学べた。
- 講師の言葉使い。
- 研修資料が合致していないところがあり、書き写しきれませんでした。また、書いている時間に、表示されていた画面を見落としたり、もっと見たいところ、聞きたいところがあったため。

研修の改善の必要性

- 講師の先生のメーカー批判をやめていただきたい。フローリングの床の会場を選ぶべきだと思う。床走行式のリフトが使いづらかったので。
- 筆記試験では初日に習っていない問題があったと思われるところ。
- 個人情報の許す範囲で、研修資料を合致させて頂ければ、より講義に集中しやすいと思った。

科目別理解度



リフトリーダーと助成金制度

『ほとんど理解できた』を選択した理由

対象者、申請方法、補助金受け取りまでの流れなど詳しく、分かりやすく載っていて、イメージが付きやすかったため。

『半分位理解できた』を選択した理由

- 助成金制度があまりわかってないため。
- 助成金は仕事で関与していないため意識していなかった
- 現場のスタッフの為、詳細が知識不足のため

『あまり理解できなかった』を選択した理由

- 説明がそれ程なかった。
- 変更があったことはわかったが、興味がなかった。

腰痛の原因と対策

『ほとんど理解できた』を選択した理由

- 原因とか実際に介助の写真とかで説明してくれたから分かりやすかった。
- 自分が相当、無理な体制や荷重を身体に負担をかけていたから。
- 腰痛予防だけでなく、ケアの質を高めることが大事だということが理解できたため。

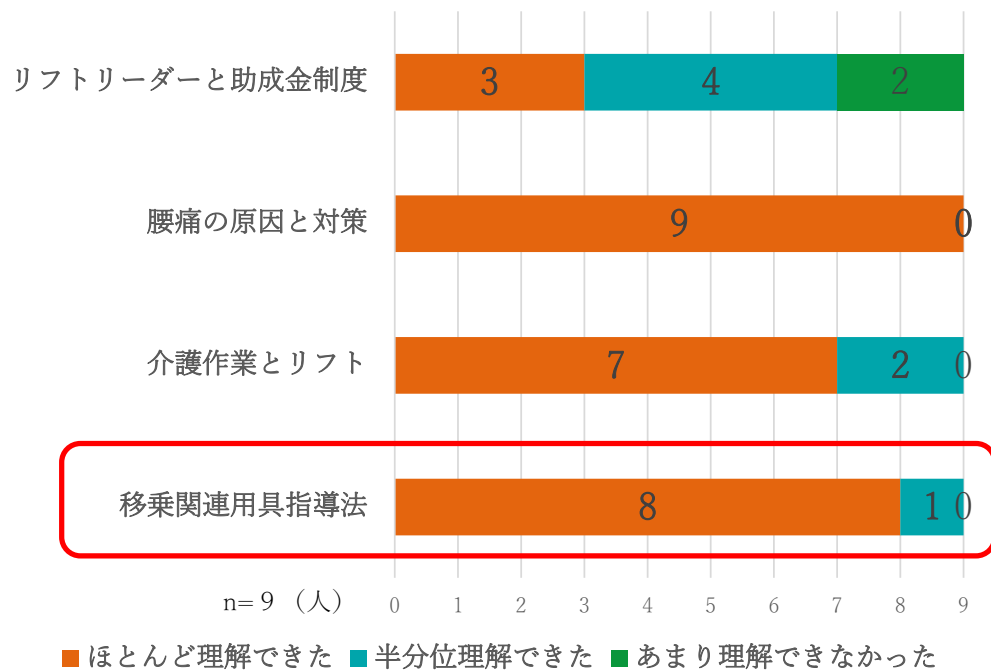
介護作業とリフト

『ほとんど理解できた』を選択した理由

- 色々なパターンの練習 実技練習ができたから。
- 実技によってより理解できた。



科目別理解度 移乗関連用具指導法（リフトの演習）



移乗関連用具指導法

『ほとんど理解できた』を選択した理由

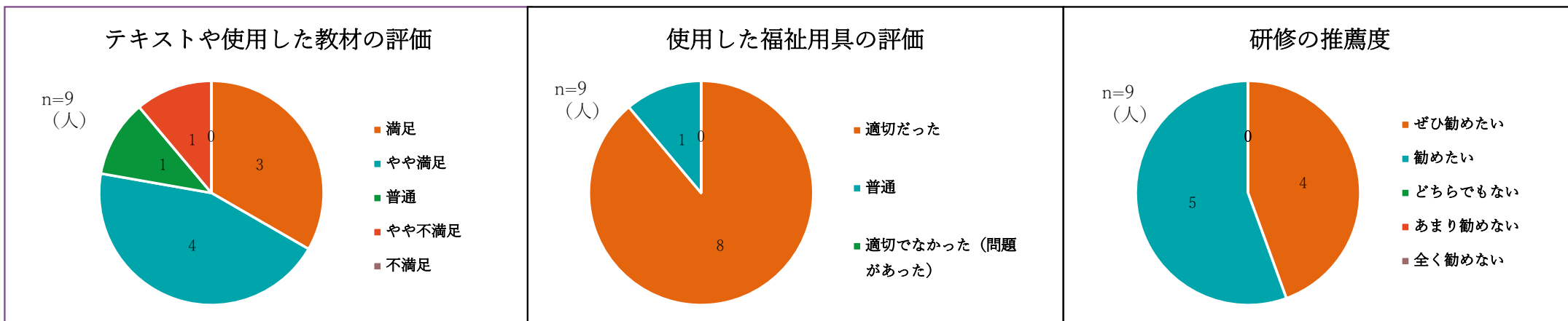
- テストがあるという緊張感があるから集中して学べた。
- 組織的に取り組まなければ意識改革は難しいことは分かっているが、それが難しそうなので、私自身、個人的に参加した。組織全体の意識改革をどうするか課題です。ケアの質の向上、職員の負担軽減のためにも、部署内で研修したり、リフトの対象者を選定しリフトを取り入れることを提案したり、日々できるところから取り組みたいと思う。

『半分位理解できた』を選択した理由

- 普段やってるやり方より丁寧だったが覚えるのが大変。



その他の評価

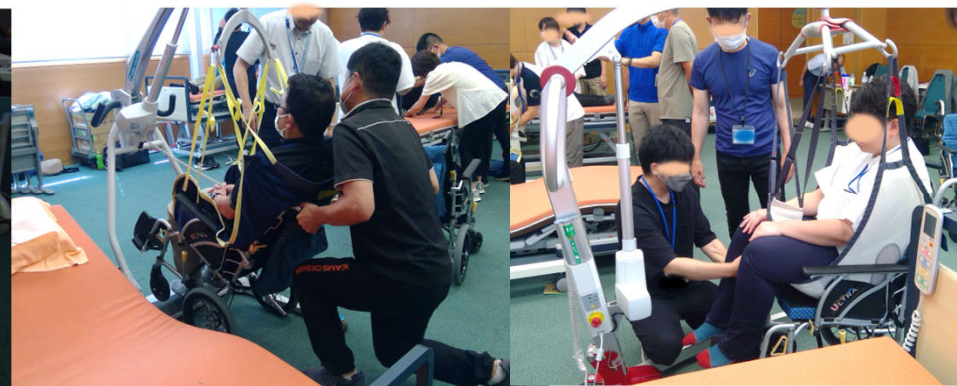
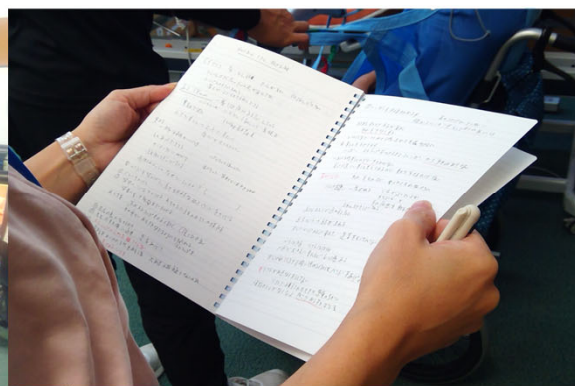


研修で使った福祉用具に対するご意見

- リフトやベルト以外にも物品を使用し実演したかった。

研修全体に対するご意見

- 教科書が最新ではない感じがし、講義でも使用しないものとなっているのは疑問だった適切な教材があるとさらに充実すると感じた。
- 全体を通して、参加してよかった。すぐにリフトの指導や活用に実践できた。



JASPA介護リフト協会 リフトインストラクター認定試験

認定試験受講者数：16人

①筆記試験 40分 選択式＋記述

②実技試験 1人15分程度

- 6種類のリフトから自分が実技評価を受けたいリフトとスリングシートを選択
- スリングシートの準備
- ベッドからリフトで釣り上げ、車いすまでの移乗



研修の振り返り

受講生の方々が非常に熱心に取り組まれている研修でした。

今回は演習に時間が足りないというご意見はなかったです。受講者数が少なく、個々のリフト演習に十分時間をとることができたと評価しました。

初めて使用する研修施設だったため、床の素材まで確認できず、床走行式リフトを動かすのには適切ではない床でした。今後は、研修施設の床の素材も確認する必要があると思いました。

助成金制度の理解度が低かったです。これは、施設に勤務される方が助成金制度自体を知らないと思われるため、講義内容について工夫する必要があると考えます。

ご参加いただき、ありがとうございました。